

教科	数学	科目（単位数）	実践数学（3）	学年	3	類型	文Ⅰ
学習目標	（数学Ⅰ・A）1年次で学習する高校数学の基本を確認しながら、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。						
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	数学Ⅰ 第1章 数と式 第4章 集合と論証 数学A 第1章 場合の数と確率 1 集合の要素の個数 ～ 8 重複組合せ	【数学Ⅰ分野】 数と式、集合と論証について学び、高校数学の基礎を培う。 【数学A分野】 場合の数について、順列・組合せに関する知識技能を深める。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間 ～期末考査	数学A 第1章 場合の数と確率 9 順列・組合せに関する問題 ～ 17 条件付き確率 第3章 図形の性質 22 三角形の性質 ～ 25 円の性質	【数学A分野】 場合の数について、順列・組合せに関する知識技能を深め、確率について考察する。 図形の性質において、三角形・円の性質について学ぶ。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末 ～2学期 中間考査	第3章 図形の性質 26 方べきの定理 数学Ⅰ 第2章 2次関数 11 2次関数の最大・最小(1) 12 2次関数の最大・最小(2)	【数学A分野】 図形の性質において、方べきの定理について学び、様々な図形について考察する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間 ～期末考査	数学Ⅰ 第2章 2次関数 14 2次方程式 15 2次関数のグラフと2次方程式 16 2次関数のグラフと2次不等式 17 2次関数の応用 第3章 図形と計量 19 三角比 20 三角比の拡張 21 三角比の応用	【数学Ⅰ分野】 2次関数について学び、グラフと方程式・不等式について考察する。また三角比の定義を学び、様々な図形について三角比を用いて考察する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末 ～年度末	数学Ⅰ 第3章 図形と計量 22 正弦定理・余弦定理の応用 23 三角形の面積とその応用 24 図形の計量	【数学Ⅰ分野】 正弦定理や余弦定理について学び、様々な図形を三角比を用いて考察する。また日常生活と関連した問題を扱い、数学のよさを認識する。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 （教科書・副教材）	教科書：「例題から学ぶ数学ⅠA」（実教出版）						
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。 （抜けている分野をなくす、苦手分野の克服）						
評価方法	①定期考査 ②提出物 ③授業態度（数学に興味関心を持って授業に取り組んでいるか）						